

# 広報 大ゆうぜん

No.307

昭和58年3月1日発行  
毎月1回 1日発行  
発行所 入善町役場  
富山県入善町入膳3255  
☎0765-72-1100(〒939-06)



ふれあい  
シリーズ

わらじ作りに励む

おばあちゃんたち

3月号

私たちの先祖が、昔から伝承し続けてきたワラジ作り——。荒又地区のおばあちゃん3人は、今でもワラジ作りに励んでおられます。

「年寄りの暇つぶしですちや、”オラアの編んだが、テレビの水戸黄門さまもはいてくれとらっしゃるがかの”と思うてやっとなるがですちや」と、本当に楽しそうです。

## 町へのアドバイス

# 省け<sup>ッ</sup> 審議会が提言

同審議会ではその後、2か月余りにわたって町の行財政について調査・審議を進め、1月26日、当面の改善案を町に提言しました。



▲町の行財政について審議する「行財政審議会」

### 最少の経費で 最大の効果を

改善案の骨子は、経費の徹底した節減合理化、補助金の整理・合理化、職員定数の見直し、事務事業の見直しなどとなっており、いずれも「最少の経費で最大の効果を」という視点に立って述べられています。

なお、改善案は次のように「当面する具体的措置」と「今後の検討課題」の2本建てとなっています。

### 当面する 具体的措置

#### ① 消費的経費の削減を

消費的経費（義務的・投資的経費以外）は、前年度比1千万円削減すること。

#### ② 受益者負担の原則を

福祉会館などの公共施設に対する一般財源からの持ち出しは極力削減すること。そのためには、利用者・受益者負担の原則を従来以上に導入し、利用料・手数料の値上げは止むを得ないと思われる。

#### ③ 補助金などの整理合理化を

①補助金は据え置きとし、将来的には削減を断行すべきである。  
②補助金の新設は、原則として見送るべきである。

③育成補助金に類するものは、終期を定められたい。

④補助効果の追跡調査を厳しく行うこと。

#### ④ 行政組織の見直しを

課・係の細分化は、行政組織の硬直化の要因となっており、職員の有効利用の上から大課・大係に移行、または係制を廃止し、当面は1・2係を削減すること。

#### ⑤ 臨時職員の解消を

臨時職員を多数雇用されていることは、行政不信を招いている。抜本的見直しを行い、段階的に解消すべきである。

#### ⑥ 施設の有効利用を

公園・グラウンドなどの除草等の管理を、町民の参加と協力で行うこと。また、福祉会館・勤労者福祉センターなどの施設は、より効率的な利用を配慮されたい。

### 今後の 検討課題

中易 清さん  
(浦山新・60歳)

本審議会が発足してから私も委員一人は、町行政の現状を把握するため、各課から聞き取りをし、資料の提出を求めると、真剣に討議を重ねてきました。この中でいちばん気になったのは、町債や債務負担行為の増大です。低成長時代に入つたいま、こういった借金の返済を次代に負担させることは大きな問題があり、この状態から一旦でも早く脱却する必要があると思う。

次に、消費的経費の削減です。少しでもムダを省き、その余力を投資的経費に回すよう努力してほしい。

そのためには、町長は勇気ある決断、強力な指導力を発揮し、町議会と一体となって将来展望を開く施策を推進されたい。

今後は、各補助金の効率、効果などにも踏み込んで審議を進めていきたいと思う。

### ご意見拝聴

行財政審議会の中易清会長に、提言にあたってのご意見を伺ってみました。



中易 清さん

(浦山新・60歳)



# “ムダ”を 入善町行財政

国・県を問わず“行革”が叫ばれている中で、本町では昨年11月、民間有識者による「行財政審議会」が発足しました。

## ① 信頼される行政を

①窓口サービスの向上②町民の行政に対する信頼感と連帯感を増すための方策③情報公開制度の促進。

## ② 事務事業の合理化を

①諸手続き事務の簡略化②事務の機械化、民間委託の拡大③電話交換、庁舎清掃、自動車運転の民間委託④補助金の整理合理化⑤土

地改良事業などに対する債務負担行為の廃止⑥物品購入・請負工事の価格競争の徹底⑦国・県補助事業の適正な選択。

## ③ 組織の簡素化を

①舟見支所の廃止②環境改善セ

# どう生かす この提言

ンター、コミュニティセンターなど各種施設のあり方、運営の検討③職員の適正配置と定数の見直し④業務方針の徹底、職場規律の確立⑤総合的な人事考課制を採用した管理職登用試験制度の確立。

## さつそく

### 新年度予算に

このように、提言された改善案を見ると、いろいろな分野にわたって厳しく指摘されています。

柚木町長は「審議委員各位の熱心な提言に対し、心から感謝申し上げます。町としてはこれらの改

善案を冷静に受け止め、町議会とも相談しながら対処したい。また、新年度予算案にも十分反映させたい」と話しています。

## 行財政検討委で 個々に対応

一方、役場内に設置されている行財政検討委員会（助役がキャップ・関係各課長で組織）では、審

議会の提言を受けて、2月8日、委員会を開催し、今後3つの小委員会に別れて討議することになりました。  
財政（歳入・歳出面の見直し）、行政組織（組織機構と職員配置の見直し）、施設運営（各種施設の管理、運営の検討）の3つです。  
検討委員会では、今月中にその対応策をまとめ上げ、できるものから順次実施していきたい考えです。

## 今後も続く

### 行政へのメス

以上見てきたように、行財政審議会は町行政の現状を綿密に把握し、町に対して多くの改善案を提言しました。

同審議会では今後、この提言の実施状況をみながら、改善の具体化に向けて引き続き調査・審議することになっています。

# 特急列車を利用しよう！

入善駅利用  
促進協議会

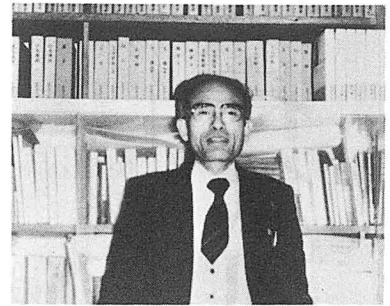
往復切符・定期券は  
入善駅で買いますよ  
う。

富山県へよく知られますか？  
蛭子 結構来ますよ。郷土の歴史やその地方での文芸活動などを調べるため、県内の公立図書館や書店によくかけます。

入善の印象は？  
蛭子 3万人足らずの町にしては、商店街が近代的で、社会文化施設も整っており、活気があるようです。また、きょうの講演会に大勢のかたが詰めかけ、入善の文化が進んでいるように思います。

### そとから見たにゅうぜん

2月19日、町立図書館で開かれた読書講演会に講師として来町された蛭子健治さん。  
蛭子さんのお住まいは新潟県の市振で、糸魚川高校で教壇に立っておられます。



### がんばれ豆剣士

富山智子ちゃん、現在2級の腕前で、昨年の県剣道大会・女子のトーナメント戦で優勝した実績が認められたものです。

全国大会は、3月26日から28日まで東京・代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催されます。

「エイ、ヤッー」。きょうも町練成館では、豆剣士たちの甲高い声が聞こえてきます。

その中の一人・富山智子ちゃんは、第5回全国スポーツ少年団剣道交流大会に、富山県選手団員として出場することになりました。

富山智子ちゃん(横山小6年)

スポーツ少年団  
全国剣道大会に出場

カメラ・トピックス  
カメラ・トピックス  
カメラ・トピックス

### 山資源の繁栄を祈る

舟見地区で山神様祭り  
神仏混合・珍しい祭事

2月9日は山の神の日として、山の仕事にたずさわる人たちは仕事を休み、山神様にお参りすることになっています。

舟見地区ではこの日、地元関係者30人が舟見山にある「山神社」を訪れ、今年1年の山仕事の安全と山資源の繁栄を祈願しました。

社(やしろ)は、舟見寿楽苑から1キロ山あいに入り、林道からさらに約100段の石段を登りつめたところにあり、地元でもここを訪れる人はそんなにいません。

この祭りは神仏混合で、神主さんとお寺の住職がいっしょに祈りを捧げる、という珍しい祭事を行っています。



舟見	入膳	桐山	入膳	下野	入膳	東膳	八幡	神子	入膳	吉原	上野	桐山	青木	桐山	福島	古黒	道市	吉原	上野	入膳	芦崎	横山	木根	舟見	青島	東島	東島	住所
朝倉正基	三日市康二	末上憲一	泉啓二	金沢雄二	宮下時夫	川口和弘	板本康雄	浜田安則	本田均	柳平祐二	野沢勲	前田信正	松田茂	石田武志	若島秀之	草久夫	広多勝	上原松弘	目沢義昭	神田博昭	上里公平	曳田栄世	木本伸博	森秀樹	末上浩二	竹田孝義	米島芳三	保護者
二男	二男	三男	二女	二女	二女	長男	長女	長女	長男	二男	長女	三女	長女	長男	長女	二女	二女	二男	二男	二女	長女	二女	長男	長男	二女	二男	長女	続柄
勇介	正輝	真人	真由美	鷹也	百香合	昌弘	由香	基容子	甲子朗	雅樹	茜	景恵	裕美	教介	美代子	悦子	弘章	春樹	真希	清香	珠紀	あすか	裕樹	綾子	正樹	瑠美	名前	

おめでた



### 第6回 町民スキー大会成績

とき：1月30日(日)  
ところ：宇奈月スキー場



- 一般女子の部
  - 1位 西尾美津子(下飯野)
  - 2位 本田 雅子(木 根)
- 中学男子
  - 1位 鍋島 正茂(入善中)
  - 2位 長島 克己(入善中)
  - 3位 長島 努(入善中)
- 壮年男子(40歳以上)
  - 1位 後藤 隆司(下 山)
  - 2位 水野 陸夫(美善町)
  - 3位 藤塚 英二(入 膳)
- 成年男子(30歳~39歳)
  - 1位 中易 和正(浦山新)
  - 2位 谷 正和(古黒部)
  - 3位 金森 一洋(中 沢)
- 青年男子(30歳未満)
  - 1位 古畑 芳範(舟 見)
  - 2位 上坪 哲夫(舟 見)
  - 3位 中野 真二(入 膳)

### 第15回 郡民スキー大会成績

とき：2月13日(日)  
ところ：三峰スキー場

- 一般女子
  - 2位 永井 昌代(新 屋)
- 成年男子2部(30歳~39歳)
  - 1位 上田 元司(入 膳)
  - 3位 島先 光雄(道 古)
- 壮年男子1部(40歳以上)
  - 2位 小森 隆信(舟 見)

入善で知っていることは？  
蛭子 故米沢元健氏、日大講師の龍瀬良明氏、早大名誉教授の竹内常行氏、画家の前田常作氏など、素晴らしい人材が輩出されていることです。

また、俳句雑誌「荒海」も毎号拝読させていただいています。これも入善の文化の高さの現われだと思います。

講演会の内容は？  
蛭子 糸魚川市が生んだ文芸作家・故相馬御風の「その人」と「作品」について話しました。御風は、早稲田大学の校歌「都の西北」の作詩者で、富山県でも氏が作詩した校歌がかなりあります。

ところで、「蛭子」という姓は珍しいですネ  
蛭子 ここらあたりでは、まずないでしょうネ。「蛭」は「ひる」と読むのに、「えび」ですから、私自身、不思議に思っています。

### おじいちゃん・おばあちゃん “歩く野球”を楽しんでネ…



### 高齢者向きの 新スポーツを開発

町では、高齢者向きの新しいスポーツとして、“ウォークベースボール”を開発し、町内の体育指導員などに講習会を開くなど、その普及に力を入れています。

ウォークベースボールは、読んで字のごとく“歩く野球”。10m四方の正方形コートに1、2、3塁のベースを置き、バッターボックスからホームベースの上に置いたボールをスティックで打ちます。

コート内には、ホームランや3塁打ボールが立っているほか、シングルヒット、2塁打、アウト、

ダブルプレー、盗塁ゾーンなどを設け、ボールが止まった位置で判定します。1チーム5~7人、25分の試合時間内に得点を争う競技で、屋内外で楽しめます。

新種目は、町体育指導員協議会が考案したものを土台に、生涯スポーツ推進委員会で改良を加えたもので、歩くことを基本に考え出されました。

町では、1月24日と2月12日に町内の体育指導員を集めて講習会を開くなど、今後、お年寄りが気軽に楽しめるスポーツとして広く普及させたい考えです。

(2月15日受付分まで)

入膳	入膳	青木	吉原	入膳	野中	小杉	荒又	神林	八幡	今江	上野	東狐	今江	小摺戸	八幡	福島	八幡	下飯野	小摺戸	住所氏	
上田	水野	川原	上原	木本	川瀬	須沢	島又	米原	尾山	西嶋	高森	滝本	小松	舟根	紺田	高島	紺田	野坂	松原	氏名	
おめり	よし枝	康久	アヤ	およし	武紀	久松	よし	茂雄	作松	つや	ふさ	鏡義	孝左衛門	こより	広松	きよ	コト	友一	清松	年齢	
80	76	57	68	83	42	77	89	73	81	66	82	22	84	71	68	85	72	57	77	世帯主	
健一	修一	志さ	定左衛門	善昭	本昭	本昭	二次郎	一輝	一本	本	スガ子	喜久	和雄	本	本	保	本	本	本	年齢	
																					世帯主



小摺戸	上野	入膳	青木	小摺戸	暮ノ木
杉本	岩山	舟川	森下	伊林	村中
真二	山好	正高	幸夫	俊次	輝久
長男	長男	三男	二女	二女	三女
雄一	真一	尚	花	花	早
郎	徒	輝	健	純	里

# 国保係が

## 医療保険係に

### 役場機構が一部変更

2月1日から実施された「老人保健法」に対応するため、役場機構が一部変更になりました。

住民課国民健康保険係が環境保健課に移り、新しく「医療保険係」と名称が変わりました。

また、これまで福祉課で扱っていた老人・母子・乳児・心身障害者・重度心身障害者の各医療給付は、新設された環境保健課医療保険係で扱うことになりました。

これにより、保健・医療・国民健康保険の窓口が一本化されました。



▲新設された医療保険係(役場1階)

## 臨時職員の



### 登録希望者を募集

町では、昭和58年度の臨時(パート)職員の登録希望者を、次のとおり募集します。

#### ◆職種及び資格

- 一般事務…高校卒業程度の学力のある人。
- 保母…保母の資格のある人。
- 調理師…調理師の資格のある人。

※いずれも町内在住者に限りです。

#### ◆雇用期間

昭和58年4月1日～59年3月31日までの間に、臨時職員が必要となった時、日々雇用します。

#### ◆申込み

登録を希望される方は、3月19日(土)まで、総務課へ履歴書(自筆)を提出してください。

# 春の火災予防運動 3月20日～26日 火の用心、心で用心、目で用心

春の火災予防運動が、3月20日から26日まで実施されます。

毎月19日は

## “婦人防火の日”

この運動は、春の訪れとともに火災が最も発生しやすくなるため、火災予防思想の普及を図り、悲惨な焼死事故や貴重な財産の損失を防ぐために実施するものです。

一方、婦人防火クラブでは、毎月19日を「婦人防火の日」と定め、消防広報車で各地区を巡回し、防火を呼びかけています。

家庭の安全、地域の安全のために、町民一人ひとりの心がけて火災のない町にしましょう。

マイクを通して「寒い日が続きますが、特に暖房器具の取り扱いには注意し、火災のない町にしましょう」と連呼。

なお運動期間中は、毎晩9時にサイレンを鳴らします。

ママさんたちの呼びかけは、無火災の町づくりに大きく役立つことでしょう。



# お知らせ



## 案内

### 入善町民号を計画

◆昨年11月、入善駅に特急停車が実現したところですが、今後さらに入善駅の利用促進を図るため、昨年に引き続き「入善町民号」を運行したい計画です。▼期日：5月18日～19日(1泊2日)▼行先：琴科高原と石和温泉(山梨県)▼定員：350名▼参加費：3万5千円▼申込み先：役場商工水産課まで☎72-1100内線81番▼先月号で、期日が5月24日～25日とありましたが、5月18日～19日に変更となりました。訂正しておわびします。

### PTA教育無料相談

▼3月3日(木)：「心と発育」永山博(黒部学園指導第2課長)「学習」小路みつ子(富山教育事務所指導主事)▼3月17日(木)：「学習」高見京子(黒東小学校教諭)「生活」宮本小平(町教育センター生活指導員)▼場所：福祉会館2F▼時間：午後5時～7時30分



## 募集

### 4月から 新しい公民館成人講座を

◆中央公民館では、成人者を対象に各種の教養講座が開かれています。4月から、みなさんの好みに応じて新しい講座を組む予定ですから、ご希望があればぜひ申し込んでください。▼対象者：成人者ならどなたでも▼人数：一つの講座に10人ぐらい▼開設：人数がそ



# 善意の窓

あたたかいご芳志に感謝いたします。

入善町善意銀行（敬称略）

（1月11日～2月10日）

### ■ 社会福祉事業資金に

入 膳	入小4年生 山崎 文子	円 975	恵まれない子供達へ
"	東洋紡入善 生活協同組合 入善ロータリ ークラブ (代)金沢一美	35,000	恵まれない人達へ (毎年)
福 島	福沢もりゑ	100,000	チャリティオークションの収益金の一部を
田 中	田中 昭久	50,000	亡母のいの供養として
入 膳	匿 名	50,000	亡父辰左エ門の供養として
		10,000	(1月分)

### ■ 舟見寿楽苑へ

朝日町	中村 健志	100,000	亡父長太郎の供養として
舟 見	匿 名	48,650	運営資金として

### ■ 新川むつみ園へ

入 膳	竹内美和子	6,000	小銭をためて
-----	-------	-------	--------

### ■ 物品の部

柳 原	入善町連合青年団 (代)柳田幸満 柳原白雪会 一同 (代)柳平まつゑ	古切手 12,276枚  毛糸の帽子 35枚	東京善意銀行へ  ボランティア活動の一端として舟見寿楽苑へ
-----	--	------------------------------------	-------------------------------------

## ● 私からひとこと…

### “善意の窓”に物申す

広報に掲載されている“善意の窓”についてひとこと——。

毎年寄付される人が増え、たいへん喜ばしいことですが、真の善意とは、恵まれないかたがたのため、または福祉の充実を願って行う……ということだと思えます。

私は、老人会の役員をしている関係上、いろんな話を耳にすることがありますので、町当局のご意見を聞かせていただけたら、と思いい書いてみました。

ある家庭に不幸があった場合、“〇〇の供養として”という寄付が、ほとんどの家庭から出されるようになりましたが、中には「寄付すると広報に名前がのるから、無理してでも…」と、世間を気にしながらされる人が多いようです。

町当局は、町民の中には豊かな生活をしている人、貧しい生活をしている人がいることを考慮に入れて、地元老人会への寄付者の氏名は広報に載せないようお願いいたします。

(一町民)

### 地元老人会への 寄付者名を割愛

町ではさっそく、内部で検討した結果、広報3月号から地元老人会への寄付者名を載せない、ということを決めました。

地元老人会への寄付（不幸があった時の供養）が年々増えている現在、広報に載せることでその金額が高くなり、また仕方なく寄付する人も多い、ということが関係者から指摘されたわけです。

町民各位のご理解をお願いします。

(総務課)



## 広報縮刷版 を発行予定

町では、合併30周年にあたる今年10月に、“広報にゆうぜん”の創刊号から300号（57年8月号）までを一冊にまとめ、「広報縮刷版」を発行する予定です。

広報のほかに“議会だより”も盛り込み、約1,400ページになります。大きさは、B5版（25センチ×19センチ）、厚さ5センチ程度。価格は約3,000円の見込みです。

詳しいことは、5月号でお知らせします。

### スキートの 級位認定テストを

●全日本スキー連盟公認のバッチテストがあります。スキートのできる人なら、どなたでも受けることができます。▼期日：3月20日(日)  
▼時間：受付10時～12時、テスト午後1時～  
▼場所：宇奈月スキー場▼受験料：級の段階によって異なります（千円～2千円）▼問合せ先：入善基礎スキー指導員会・藤田政也 ☎74-0347

ろえば、公民館で場所を提供し、講師も世話します▼申込み：中央公民館 ☎72-0133  
及び ☎72-1100 内線69番まで。住所・氏名・年齢・学びたいテーマを申し出てください。

# 私たちの広場

## ※夢晴くんと命名

先月号で、「誕生した男の子に名前をつけてください」と募集したところ、入膳16区の沢田美和子さんから「夢晴くん」と「夢裕くん」の2つが寄せられました。

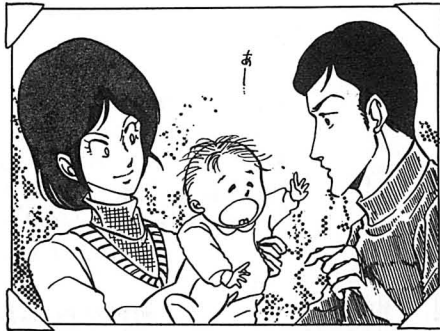
作者の泉さんと相談した結果、「夢晴くん」と決定。今後よろしくお願ひします。

### ▶ その2

「あつ、歯がはえた」

イラスト

泉 裕子さん  
(高2・上野)



ご意見などを  
お寄せください

この広場は――

- ご意見 ●イラストやマンガ ●ゆずります・ゆずってください ●グループの紹介……などに利用したいと考えています。

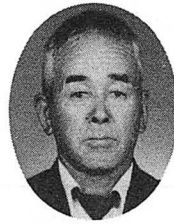
紙上匿名は自由ですが、原稿には必ず住所・氏名を明記してください。

広報係 ☎72-1100内線38

17年と8か月間、私を育てくれたふるさとを去り、地球の裏側のブラジルで49回目の正月を迎えました。元旦には、家内が作ってくれた雑煮を玉のような汗して祝い、おとそ代りに飲んだビールの酔いが、気持ち良く身体中を駆けめぐり、遠い昔、50年前のことを思い出させます。

四季とりどり変わる山の色、春ともなればれんげや菜たねの花、馬の鈴の音やのどかな田植歌、夏を告げるヨシキリの鳴声、どこか間の抜けたカツコウ等々。『山紫にして水清らかなる処』とは、私のふるさとのために作られた言葉でしょう。

昭和8年4月18日、ブラジルに



永井啓重さん

ふるさとへの便り

## 「なつかしの看板」

### タネヤ平六

新屋出身、昭和8年ブラジルへ移住。養蚕、コーヒー等を栽培。ブラジル富山県人会書記を歴任。

サンパウロ州在住、67歳。

向けて出発した日です。家族の者は車で駅に向いましたが、私は、少しでも再び見ることがないであろうふるさとの姿を心に刻みつけるべく、振り返り振り返り歩いて駅に向いました。途中で出会った顔見知りの人たちから、懐みのような別れの言葉を受けたものです。

60日間の航海の果て、ブラジルの第一印象は波止場人足の黒かったことです。サントス港からさらに800キロ、アリアンサ富山村へ着くまでの途中、一緒に来た人たちが次々と降りて行く時、その心細かったことは話にはなりません。先に移住して来られた方々からあたたかく迎えられてホッとした翌日には、それぞれの土地(25町歩

単位)に入耕し、私はブラジルの百姓になったのです。

それからいつの間にか50年、一緒に移住した何人かの方も亡くなり、祖父や両親もブラジルの土となりましたが、私はまだ一度も日本を訪れてはいません。長男と長女は、派遣研修生として富山の地を踏んでおり、私も二・三回機会があったのですが、その都度何かの都合で実現しませんでした。しかし、負け惜しみではなく、私はさして日本を訪れたいとは思いません。ブラジルの生活が余程私に合っているのでしょう。

最近、日曜毎に訪ねて来る孫たちの顔を見るのが何よりの楽しみですが、ただ一度だけ、ふるさとをなつかしいと思ったことがあります。それは、送っていたいた町のパンフレットに、なつかしや50年前と変らぬ「タネヤ平六」の看板が写っていました。私がいした時も「タネヤ平六」で、その横には「平六じまんの六尺ごぼう」の看板があったことも覚えています。この時だけはたまらなくふるさとをなつかしく思ったものです。

ふるさとは、遠くにあつて思うもの。確かにそうですね。ふるさとを思い出すことは、人間の幸せの一つではないでしょうか。



# グループ登場



## 墨彩画を楽しむ

### 『墨幽会』

中央公民館で毎月2回、水墨画を楽しんでいるのは『墨幽会』のみなさん(水井豊子会長・会員13名)です。会員の全てが30〜40代のママさんたちばかりで、和紙に筆を走らせながらも、室内は相当地ぎやかです。

水墨画といっても、墨が主で、ほかに淡い色を加えるなど、『墨彩画風』。春には梅や桜、秋には菊や山茶花(さざんか)とい

つたように季節に合わせて描いています。

つい最近、全員で『おひな様』に挑戦し、子どもたちから「お母さんて、案外うまいんだな」と、母親の顔を立てるのに大いに役立ったとのこと。

「初めのうちは楽しかったけど、やる次第に難しく感じます。いまは先生の作品を見本にしていくけど、将来は自分でスケッチして描けるようになりたい」と、ママさんたちはヤル気満々。

会員を指導する上島弘さん(中央公民館主事・61歳)は「活動し始めて1年余りにしては、上達が早いようです。今後は自分で写生し、1つの絵として描ける状態まで指導したい」と話されます。

最近では、作品に作者名を入れるため、ろう石に落款(らつかん)印を彫るなど、プロ意識(?)に燃えるママさんたちです。

## 新着図書案内

### 〈小説〉

満州国崩壊の日(上・下)

榎場英治

悪魔の関係

笹沢左保

貝紫幻想

芝木好子

蓮如(三・四・五巻)

丹羽文雄

### 〈一般図書〉

自分学のすすめ

鈴木健二

人を動かす話術

鈴木健二

男が40代にやっておくべきこと

鈴木健二

女がつづる女のくらし七巻

鈴木健二

猫の上手な育てかた

田辺聖子他

日本ペットフード

畑山博

つかのまの二十歳

石川中

今いちばん気になる現代病心身症

吉行淳之介

花冷えの季節

奥沢康正

ねこになったマーくん

奥沢康正

## あなたと図書館



## 本との出会い

### ゆたかな人生

#### 『気軽に図書館へ』



四十物敦子さん (入膳・58歳)

最近、私が図書館で調べていた二つの言葉を紹介します。

「鹿尾菜」。家にある辞書を開くても一向に解らず、春の菜のことかと思ひ、俳句の季語を調べてもなし全く困ってしまいました。そこで図書館で調べていた

いたら、何と「ひじき」のことでした。海草とは気付かず後で大笑いしたものです。

「アンニユイ」。フランス語で倦怠という意味だと知りました。このように、主婦の皆さんも解らない言葉がありましたら、恥ずかしながら気軽に図書館に声をかけてみたらどうでしょうか。また、料理や編物の本など必要な箇所をコピーしてもらい、いろんな知識を身につけることができるのも図書館です。

NHKラジオ(私の本棚)を時々聴くことがあります。耳で聴くだけでは頼りなく、やはり活字を自分の眼で確かめるため、さつ

そくその本を図書館に電話で予約したりします。

私は香気あふれる名作が好きです。随筆では「浄瑠璃の春」(堀辰雄)、小説では「序の舞」(宮尾登美子)、詩では「雪」(三好達治)など。じっくり読んでより深く味わうためには、感動した場面を書き写しておきます。書くことで作風を知り、また文章力にもプラスになると思います。

日記も5・6年前から毎日続けて書いていますが、これもたくさん本を観賞し、文学書に親しんだおかげでしょうか、形にとらわれず随筆風に書いています。

「ひとり灯火のもとに文をひろげて、見ぬ世の人を友とするぞ、こよなう感むるわざなる」と、兼好法師は書いています。

みなさんも本に親しんで、心も豊かに過ごされませんか。

## 本を読む子ども会

とき：3月19日(土)

ごご1:30~4:00

ところ：福祉会館2かい

### プログラム

：映画・ブックトーク

ちゅうせん会・ゲーム



写真・右／明治43年ごろの入善駅周辺・左／現在の姿  
提供・田中忠一さん  
(入膳・78歳)



### 古い写真と原稿をお寄せください

私たちの歩みを、このページに

町民のみなさんはもうご存知のことと思いますが、入善町は昭和28年10月、入善町、上原村、青木村、飯野村、小摺戸村、新屋村、柗山村、横山村の1町7か村が合併しました。そして5年後の34年1月、野中分離地区を含む舟見町が編入合併し、現在に至っています。

あれから30年を経た昭和58年。町では、この合併30周年を祝ってさまざまな記念行事を計画しているところですよ。

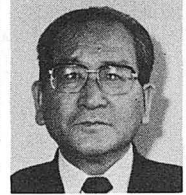
広報係でもこれと併せて、『わがまち今昔』『30年とわたし』というテーマで、私たちの歩みを振り返ってみたいと思います。

『わがまち今昔』では、昔の写真と現在の姿を見比べます。古い写真をぜひ提供してください。

『30年とわたし』では、あなた自身の30年をつづってください。

あて先は、役場広報係 (☎72-1100 内線38番) です。

## 30年とわたし



わたし

### 学校も生徒も立派になつた

愛場 一立さん  
(上野・59歳)

私の過去の30年間は、小・中学校に勤めていたので、その面を中心に振り返ってみたいと思う。

町村合併がちょうど30年前の昭和28年。「祝・新入善町誕生」の垂幕に、各校下ごとの趣を凝らした華やかな飾りつけと踊り手を乗せた「花自動車」が練り出された。

当時飯野中学にいたが、小中学生も小旗を振ってそれを出迎え、旗行列をしたのが、今も鮮明に残っている。

朝鮮動乱もこの年収まり、敗戦国日本も、再建への足がかりが出来た頃だった。テレビ開局もこの年。それが一般家庭化と共に、力

道山が白人レスラーを空手チョップ一発で仕とめるのに、国中が湧くといった活気から、高度成長期へと進んでいった時代だった。

学制改革によって誕生した六三制で、教育内容もほとんどアメリカ式模倣から反省期に入り、中学校の校舎も建て変えられていった。

でも、明治時代からの名残りも交錯している時代でもあった。学校行事にも「田植え休み」「稲刈り休み」「よもぎ刈り」といった行事が30年後半まで続いていたと思う。

登下校の道路は、今のようにブルドーザーが普及していなく、ツルの馬の背子みみたいな雪道に難

儀しながら登校したものだ。そんな学校も、次々と統合などで近代建築化され、舟見中の現校舎を残すのみとなり、小学校の段階に入っているのは喜ばしい限りである。

建物と教育内容も変容したが、生徒も大きな変遷を遂げている。学校給食の普及、運動の奨励で、「六三制、野球ばかりがうまくなり」の評もあつたが、例えば中学生のガサイ(入善方言)だけ比較しても大変な伸びに驚かされる。

・30年前身長 ・現在

中3男 147センチ → 164センチ  
中3女 146センチ → 156センチ

高校生は170センチ時代と新聞は報じている。

教育に携わる一人として、今後はその中味の充実も含めた、知・徳・体の調和のとれた人間形成に努力したいものと念願している。  
(舟見小学校長)

### 今月の人口

人口	29,784 (+24)	29,608
男	14,256 (+14)	14,142
女	15,528 (+10)	15,466
世帯数	7,677 (+21)	7,395
( )内は前月比		前年同月
2月1日現在住民登録		

## 編集室

▼先日、ある人に「広報でどの欄を最初に見ますか」と質問したところ、①表紙(当り前?) ②編集室③おめでた・おくやみ④地域のニュース:とのことでした。ここで言えることは、読者は、和らかな記事や地元に関係のあるものを持ち望んでいる、ということですよ。これを裏返せば、住民が登場する広報がよく読まれる、ということだと思えます。

▼そのためにも、広報とは役所が一方的に出すお知らせ物、という感覚は捨てていただき、読者から「こんな行事があるから、取材に来てくれ」という声が必要になってくるわけです。

▼前置きが長くなりましたが、ご意見・ご要望をお待ちしています。